

「課題名：末梢血液像における血小板顆粒不同と病態との関連に関する検討」について

○ 研究の意義・目的

末梢血液像検査では、血小板の大きさは評価基準として示されていますが、顆粒の量やばらつき（顆粒不同）については、明確な基準がありません。一方で、実際の検査では顆粒が少ない血小板と多い血小板が混ざって見えることがあり、その意味はまだ十分に解明されていません。

そこで本研究では、血小板顆粒不同がどのような病気や体の状態と関係しているのかを調べ、顆粒の量が診断や病態の推定に役立つかどうかを検証します。顆粒不同の臨床的な意義が明らかになれば、血液疾患を早期に疑うための新しい視点となり、日常の血液検査の質向上にもつながると考えています。

○ 研究対象者

2023年4月1日から2028年3月31日までに、広島大学病院検査部で通常診療において末梢血液像検査を行った患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、診療に用いられた末梢血液像を用いておこないます。そのため本研究のために採血量を増やしたり、改めて採血を行うことはありません。また、末梢血液像検査が行われていない場合は研究に使用することはありません。また診療録（カルテ）から、検体採取年月日の他、年齢、性別、診断名、使用薬剤、治療内容、血液検査（WBC、RBC、Hb、Ht、MCV、MCH、MCHC、Plt、IPF、白血球分類（機械分類・目視分類）、フィブリノゲン、FDP、Dダイマー、赤血球沈降速度、TP、ALB、LD、CRP、PCT、免疫グロブリン（IgG・IgA・IgM）、IL-2R、骨髓検査所見、血小板凝集能、CT検査結果、遺伝子・染色体検査結果、病理検査結果）のうち必要な項目を使用します。（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院検査部 准教授 茂久田 翔

○ 研究期間 2023年4月1日～2029年3月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

○ 利用を開始する予定日 2026年9月18日

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に試料・情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

..... ● ● ●
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5541

広島大学病院検査部 准教授 茂久田 翔（研究責任者）

診療支援部 臨床検査技師 川下 遥（担当者）